

十和田市立 新渡戸記念館だより

130年前

明治初期の建築物

「照瑠堂」の 修復完了

三本木原開拓の祖・新渡戸傳亡き後、維新の動乱期の開拓をとりまとめた係の新渡戸七郎は、明治5年(1872)安野清兵衛、高岡権十郎など開拓地の有志と協力して、位牌堂「照瑠堂」を建立しました。「照瑠」とは十次郎の字で、開拓地の都市計画や産業開発に尽力しながら47歳で志半ばに病死した十次郎の御霊を偲んで名づけられました。昭和58年(1983)十和田市内有志が新しいお堂を寄進し、位牌堂は名称も「顕彰堂」となって生まれ変わり、現在に至っています。顕彰堂の内部には新渡戸一族や、開拓協力者の位牌24基がまつられています。

照瑠堂は位牌堂としての役目を終えましたが、2度の大火を経験した十和田市中心街には明治初期の建築物がほとんど残っていないため、当地の貴重な文化財となっています。顕彰堂の建立とともに、照瑠堂を太素塚境内奥に移築し鞘堂をかけて保存してきましたが、建立から約130年を経過して建物がかなり傷み、鞘堂も屋根が壊れ土台が傾いてきましたので、照瑠堂を修復し、新しい鞘堂におさめました。



▲修復され新しい鞘堂がかけられた「照瑠堂」



▲現在の位牌堂「顕彰堂」
太素祭や元朝参りなどのときには参拝者のために扉を開けています。(写真は太素祭時のようす)



▲新渡戸十次郎



▲新渡戸七郎

平成17年7月1日(金)～8月31日(水)

稲生川上水147年記念企画

1995～2005 修復完了資料展 — 10年の成果 —

平成7年(1995)から三本木原開拓資料や新渡戸稲造関係資料をはじめとする当館所蔵資料のうち、修復が必要と思われるものについて、裏打ちや表具直しなどの修復作業を行ってきました。作業着手から約10年の成果として、修復によって展示可能となった貴重な未公開資料約30点を一挙公開します。

※通常観覧料で常設展と企画展の両方をご覧いただけます。(十和田市民は無料)

場所：十和田市立新渡戸記念館一階展示室

2005年 太素祭開催

稲生川上水147年記念太素祭が、太素塚境内を中心に5月3日(火)～5日(木)に行われ、3日間で約29,000人の人出がありました。当館では例年通り無料公開するとともにクイズ大会を行い、来館者は約3,500人にのぼりました。

太素ウォークなどの イベントでにぎわう

5月3日(火)には、稲生川のルートを取水口からたどって歩く「太素ウォーク2005」が開催され、小学生からお年寄りまで約200人が参加しました。太素塚での開会式の後、バスで稲生川の取水口に移動し、午前9時30分に出発、途中、稲生川の穴堰(トンネル)や関連した史跡を見学しながら、ゴールの太素塚を目指しました。コースは22kmと14kmの2コースがあり、ゴールでは完歩証とともに、当館マスコットのニトちゃんをあしらったバンダナが配られました。

また、太素塚境内では5月3日から3日間、特設ステージで様々なイベントが開催されました。特に、こどもの日に行われたキャラクターショーは毎年人気で、多くの家族連れが太素塚を訪れました。



◀たくさんのお客がキャラクターショーを楽しみました。

恒例の クイズ大会も好評

記念館では、毎年恒例となった太素祭記念クイズ大会「クイズで探検!ニトちゃんとあそぼう!!」を開催しました。参加者585人中322の方が全問正解し、5月6日(金)から1ヵ月間名前を館内に掲示しました。また、全問正解者の中から抽選で30人に当館出版のガイドブック



か、ニトちゃんキーホルダー、ニトちゃんマグカップのいずれかを景品として贈呈しました。

◀今年制作したニトちゃんマグカップ

レポート 太素塚の緑を守る

境内の野草が花盛り

数年前から太素塚境内の緑化に力を入れてきましたが、太素塚近隣の方々からの野草の提供や、ボランティアでの花の手入れのおかげで、太素塚の杉林の下にも野草が増えてきました。今年の春は色とりどりの花が咲き、美しい花が来館者の目を楽しませていました。



◀アヤメ咲く頃の太素塚

ノビネチドリの盗掘

4月27日(水)、せっかくの善意で植えていただいた野草・ノビネチドリ他2株が、盗掘されてしまいました。5年前に近所の方が家で大切に育てていたものを太素塚に提供くださったもので、小さかった花がボランティアの方の協力で、大きく美しい花に成長していたものです。



来館される多くの人々の目を楽しませていた花が、心ない行動により失われたことは非常に残念でした。東奥日報紙上で報道されたところ、新聞を見た近所の方が、また小さなノビネチドリの株を植えてくださいました。

◀再び植えていただいたノビネチドリ

市民大学講座 岬龍一郎氏が新渡戸稲造について講演

6月29日(水)市民文化センター視聴覚ホールで、作家・評論家の岬龍一郎氏が『日本人の忘れ物—いまなぜ武士道か?—』と題して講演を行いました。この講演は市教育委員会が主催する市民大学講座の第一講座として開催されました。岬氏は「武士道はまさに和製の聖書である」と話し、愛と献身と気概の大切さ、知育のみにかたよった教育への警鐘とともに、人格を鍛える必要を述べられました。氏の著書には『いま、なぜ「武士道」か』『新渡戸稲造 美しき日本人』などがあります。



◀講演をする岬龍一郎氏

十和田市立西小学校生徒作品

三本木原開拓かるた

十和田市立西小学校4年生の皆さんから、三本木原開拓の学習のまとめに制作した「三本木原開拓かるた」をいただきました。絵も言葉もとてもよく考えられていて、楽しいかるたに仕上がっています。一部をご紹介します。



西小学校四年生の皆さんたちは、制作したかるたを使って遊びながら開拓のことを勉強したそうです



トピックス

太素塚でバードウォッチング —アカゲラの巣立ち—

毎年様々な野鳥が太素塚で営巣します。今年は太素塚境内奥のクリの木にアカゲラが営巣し、6月中旬にヒナが巣立ちました。ヒナは1羽だけで、現在は親鳥といっしょに太素塚の中で飛行訓練をしています。

ほかにも、太素塚にはチゴハヤブサやスズメ、ヒヨドリ、ムクドリ、キジバト、カラスなどが営巣しますが、カラスの巣立ちの時には親鳥の気が荒くなり、知らずにヒナに近づくと頭上を威嚇飛行してきます。この時期に太素塚を通るときは、カラスの親子にご用心ください。



▲飛び立つアカゲラ (親鳥)

ありがとうございました

●草花の提供

太素塚近くにお住まいの花巻惣吉さん、石川原光雄さん、野月時治さんより自宅で大切に育てた野草を太素塚の植栽に提供いただきました。

関連情報

◆太素塚清掃奉仕

- 4月16日(土) ちいさな親切運動青森支部 様
 - 4月29日(金) 6月5日(日) 本瀬戸山老成会 様
 - 5月14日(土) 大学通り老成会 様
 - 6月9日(木) 十和田市内郵便局職員有志一同 様
- ありがとうございました

十和田郵便局をはじめとする市内14の郵便局では、6月5日の世界環境デーと6月の環境月間にちなみ、環境保全並びに地域貢献活動として6月9日(木)に太素塚の清掃奉仕活動を実施しました。職員有志約30名の方が早朝から太素塚に集まり、草刈後の草の片付けを中心に汗を流していました。

◆平成16年12月1日(休)～平成17年6月30日(休)の来館小学校
＜十和田市＞松陽小学校／米田小学校＜南部町＞南部小学校＜階上町＞石鉢小学校

◆稲生川フォーラム開催

一本木沢ビオトープ協議会 (TEL24-9000東公民館)では、7月9日(土)午後1時30分～午後4時30分十和田市民文化センターにおいて稲生川フォーラム『あれから10年どう生かす稲生川』を開催します。平成5年の地域住民参加による『稲生川を考えるフォーラム』の提言から10年経ち、法量農村公園や稲生川ふれあい公園、一本木沢ビオトープが完成した現在、稲生川についてどのような活用が考えられるか話し合うフォーラムです。

◆NHK「BSふるさと皆様劇場」取材来館

NHK青森放送局と十和田市では、新十和田市誕生を記念して6月8日(水)に公開収録を行い、ゲストには人気歌手の前川清さん、藤あや子さん、俳優の梅沢富美男さんが出演しました。番組の中では、三本木中学校の生徒が自作のビデオで十和田市を紹介するコーナーが

あり、当館の撮影も行われました。NHK衛星第二放送で8月27日(土)午後7時30分からと、8月28日(日)午前10時45分から放映される予定です。

◆花巻新渡戸記念館移動研修

5月24日(火)岩手県花巻市の花巻新渡戸記念館から、当館への移動研修が行われました。新渡戸氏の知行地が現在花巻新渡戸記念館がある辺りで、その縁から十和田市と花巻市は新渡戸友好都市を結んでいます。一行は稲生川の実地見学の後、当館に来館し、新渡戸氏の足跡を学んでいました。

活動報告

◆館長講演会

- 6月4日(土) 北海道開拓の村「むらの講演会」
 - 6月24日(金) 一戸町 奥中山地区公民館
「いちのへ町民セミナー」
 - 6月28日(火) 十和田市中央公民館「寿大学」
- 三本木原開拓や新渡戸稲造をテーマに講演を行いました。



むらの講演会のようす (北海道新聞記事より)

◆博物館関連会議への館長出席

- 6月7日(火) 青森県博物館等協議会 (青森市)
- 6月24日(金) 青森県立郷土館協議会 (青森市)

◆太素顕彰会理事会・評議員会開催

6月1日(水)午後1時30分から十和田市総合体育センター2階研修室において、平成17年度第一回太素顕彰会理事会・評議員会を開催しました。ここでは、平成16年度事業報告ならびに収支決算について審議が行われ、原案通り可決承認されました。また、会議室内には平成15年度軸装資料から「大坂冬の陣図」など数点を展示しました。

〈編集後記〉

天候不順で冷夏冷害が心配されます。太素の杜の野鳥に新しい命のさえずりが聞こえてきます。皆さんにお楽しみ頂くための植栽も、ようやく成果が出てまいりました。暑い夏、癒しの森の散策においで下さい。

発行 太素顕彰会
 十和田市立新渡戸記念館
 〒034-0031 青森県十和田市東三番町24-1
 TEL (FAX) 0176-23-4430
 E-mail: nitobenm@hi-net.ne.jp
 http://www.towada.or.jp/nitobe/

印刷 株式会社 岩間印刷